

自分の人生見つめ直しませんか

人生の指針

1 金持ちになりたい、いい暮らしをしたいなど自分一人だけの幸せを求めても 限界がある。人と比べている間は、傲慢になたり、卑下したり、本当の幸せはない。他人の幸せを、望み求めて、他人を喜ばせる行動をする。

友達と考えを分かち合い生きてゆく。お互い様だという、気持ちを忘れないで、お互いに助け合い生きてゆく。

2 自分に誠実に、正直に生きる。生きてるだけで、幸せだと思う。

取り越し苦労はせずに、未来は明るい信じて生きる。

考えたことはすぐに忘れるのでメモしておく。

3 神に恥じない生き方をする。生かされされていることに感謝して生きる。

出来ないことに目を向けられではなく、出来ることに目を向けた、楽しく生活する。

4 社会に貢献する、生き方をする。自分の得意ことをして楽しく生活する。

世の中は、助け助けられ、寄り添って生きていく。

5 自分固有の使命を探し求めて、人生を送る。

世の中は、自分の思い通り行かないそれだから面白い。

自分の思い通り行くと、人は傲慢になる。

6 楽な道と困難な道があれば、自己成長のため、あえて困難な道を選ぶ。

覚えられないことはメモして、生活に支障が起きないようにする。

7 何ができなくとも、人間は神様が作られた、最高傑作とゆう自覚を持って、

自分に自信を持って、自己肯定感を持って生きる。効率第一主義でなく、ゆとりを持って生活する。無駄も必要である。あと1年だけに人生だと思い、自分にとって大切なことでけして暮らす。

8 他人の評価は 人それぞれことなる、そんな評価に惑わされずに、自分の信じる道を歩む。自分の人生は自分が主人公、自分の思う通り生きて、やらななかつたことで後悔しないようにする。聞き上手な人間になる。

9 人生は、苦難の連続である、苦難の中から色々と、学び、成長して、実り多い人生を歩む。

苦難に遭うと、人に優しくなり人生が豊かになる。

10 7 転び 8 起き、失敗にめげず、粘り強く生きる。小さい不運に惑わされず、大きな望みを持って生きる。何もやる気がなくとも、そんな時もあと認めて、何もしなくとも良いと思う。調子の良い時に何かをする、それでよしとする。

出来ないことがあっても、それを認めてなぜ出来ないだろうと自分を責めないで、人の力を借りて賢く生きる。不甲斐ない自分を認めて生きる。

自分で考えて、自分で選択して、自分で責任を取り自分の人生を歩む。

自分の人生、人に左右されることなく、自分の思った通り生きてゆく。

考えたこちは、文章にして残しておく。

価値があるから、生きているのではなく、生きているから価値がある考える。